

東急線沿線に関わる「誰もがフェアに挑戦できて、誰かの挑戦を応援できる世界」の実現に向け

日本クラウドキャピタルと資本業務提携

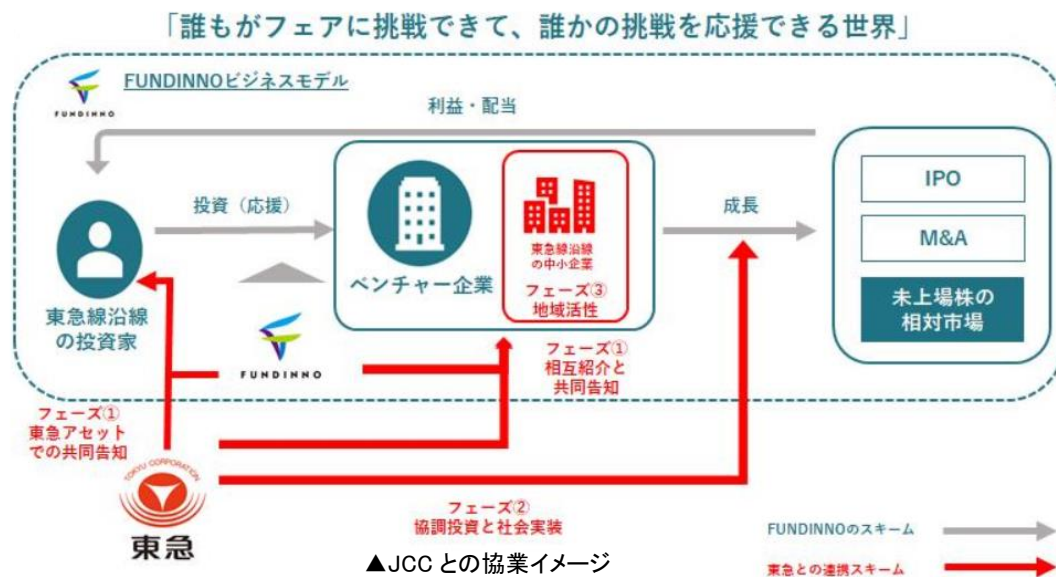
～TOKYU2050VISION「世界が憧れる街づくり」の実現に向けて、CVC活動を開始します～

東急株式会社

当社は株式投資型クラウドファンディング(※1)「FUNDINNO(ファンディーノ)」を運営する株式会社日本クラウドキャピタル(本社:東京都品川区、代表:柴原 祐喜/大浦 学、以下、JCC)と資本業務提携(以下、本取り組み)し、東急線沿線に関わる「誰もがフェアに挑戦できて、誰かの挑戦を応援できる世界」の実現を目指します。本取り組みを第一号案件として、CVC(コーポレート・ベンチャー・キャピタル)活動(※2)を開始することで、TOKYU2050VISION「東急ならではの社会価値提供による世界が憧れる街づくり」の実現(詳細別紙)に向けた新たな事業創造に取り組めます。

本取り組みは、株式投資型クラウドファンディングのリーディングカンパニーであるJCCと当社の連携により、東急線沿線に関わる人々によるスタートアップ企業・地域事業者への投資を通じた街づくりへの参加機会を提供します。また、東急線沿線の生活をより豊かにする技術やサービスを持つスタートアップ企業・地域事業者の資金調達やファン獲得手段の多様化による成長機会の提供を推進します。

また、CVC活動では、TOKYU2050VISIONにおける「City as a Service」構想(以下、CaaS構想、詳細別紙)に基づく新規事業の創出・推進を目的としています。当面の出資検討テーマは、「ヘルスケア」、「住む・働く・移動」、「ソーシャルファイナンス」(※3)の3領域と設定し、今後、CaaS構想実現への寄与が見込める技術やサービスを持つスタートアップ企業への出資を実施していきます。



当社は今後も、「世界が憧れる街づくり」の実現に向けた事業を創出することで、東急線沿線地域のさらなる活性化に貢献していきます。

※1 株式投資型クラウドファンディング: インターネットを利用し、企業が複数の投資家から資金を集めることができる仕組み

※2 CVC(コーポレート・ベンチャー・キャピタル)活動: 事業会社によるベンチャー企業への出資活動

※3 ソーシャルファイナンス: 金銭的リターンだけでなく社会的リターンも追求する金融

以 上

【別紙】

1. 資本業務提携の目的と概要

JCCとの資本業務提携により1億円の出資を行い、東急線沿線に関わる「誰もがフェアに挑戦できて、誰かの挑戦を応援できる世界」の実現を目指して、以下の取り組みを実施します。

フェーズ①相互紹介と共同告知

- ベンチャー企業の相互紹介やFUNDINNOの更なる普及に向けた当社のアセットを活用した共同告知

フェーズ②協調投資と社会実装

- FUNDINNO利用企業への当社の協調投資
- 事業連携による新たな技術やサービスの社会実装

フェーズ③地域活性

- 東急線沿線の中小企業に対する新たな資金調達
- ベンチャー企業のファン獲得の手段としての株式投資型クラウドファンディングの展開と普及、社会実装

2. 株式会社日本クラウドキャピタル(JCC)概要

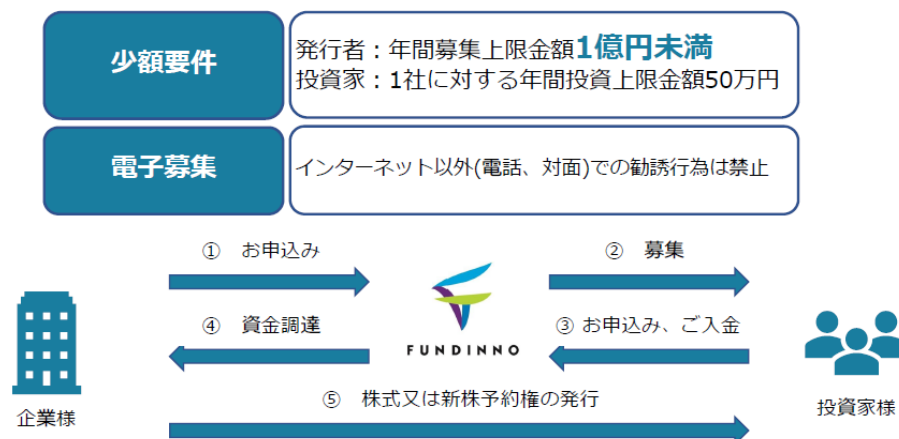
- 所在地:東京都品川区東五反田5-25-18
- 代表取締役:柴原 祐喜／大浦 学
- 資本金及び資本準備金の合計額:17億5247万9340円(2020年11月13日現在)
金融商品取引法第二十九条の四第一項第六号イ及び同法第四十六条の六に規定する自己資本規制比率は適用がありません。
- 設立:2015年11月26日
- 事業内容:株式投資型クラウドファンディング「FUNDINNO」の運営
第一種少額電子募集取扱業者 関東財務局長(金商)第2957号
- 加入協会:日本証券業協会
- URL:<https://www.cloud-capital.co.jp/> (JCC公式HP)

3. 株式投資型クラウドファンディング「FUNDINNO」概要

JCCが運営する日本初の株式投資型クラウドファンディングサービスのプラットフォームである「FUNDINNO」は、1口10万円前後の少額から、IPOやバイアウトを目指すベンチャー企業の株式に投資することができます。ベンチャー企業は各地から集まり、その中から厳しい審査を通過した企業のみが募集を行います。「FUNDINNO」では普通株式や新株予約権への投資となり、投資先企業からのIR情報を定期的に確認することができます。企業によっては投資に対してエンジェル税制を活用できる場合や、株主優待を設定している会社もあり、新しい投資体験が可能です。

※「FUNDINNO」を通じて投資を行う場合は、投資家にも投資適格性などの審査が必要となります。

URL:<https://fundinno.com/> (「FUNDINNO」WEBサイト)



▲株式投資型クラウドファンディングのビジネスモデル

【参考】

TOKYU2050VISIONとCaaS構想について

TOKYU2050VISIONとは、当社が2019年9月に公表した、長期経営構想(2030年までの経営スタンスおよびエリア戦略・事業戦略などを取りまとめた経営構想)において言及した、2050年に東急グループがやりたい姿を表現したVISIONです。

CaaS(City as a Service)構想は、TOKYU2050VISIONが目指す、生活者一人ひとりのウェルビーイングの追求や、持続可能な循環型社会の追求のために、これまで培ってきたリアルな街づくりに加えて、最先端のデジタル技術を積極的に活用したこれからの街づくりの構想です。

URL : <https://www.tokyu.co.jp/ir/manage/lplan.html>(当社HP:長期経営構想について)



▲TOKYU2050VISIONと CaaS 構想